

# 平成26年度事業報告書

自：平成26（2014）年4月 1日

至：平成27（2015）年3月 31日

## 事業の状況

### I 公益目的事業

#### 1 演奏家の育成事業（育成）

##### （1）新進演奏家育成プロジェクト（文化庁委託事業）

新進演奏家育成プロジェクトは、文化庁の「次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」として支援を受けて実施しているもので、文化庁と日本演奏連盟の共催事業である。平成26年度においては下記に掲げる4つのプロジェクトを実施した。

＝文化庁委託事業「平成26年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

##### ①「リサイタル・シリーズ」の開催

（平成26年度 札幌2回、東京10回、名古屋2回、京都1回、大阪4回、大分1回  
計20回）

全国主要6都市で実技オーディションを実施、優秀な若手演奏家を選抜しリサイタル・デビューの場を提供した。

- ・「リサイタル・シリーズTOKYO」 東京オペラシティリサイタルホール
  - #31 平成26年6月8日（日）入江かつらピアノ・リサイタル
  - #32 平成26年7月12日（土）松本望ピアノ・リサイタル
  - #33 平成26年8月31日（日）岩下晶子ソプラノ・リサイタル
  - #34 平成26年9月6日（土）湯川亜也子メゾソプラノ・リサイタル
  - #35 平成26年9月23日（火）津山治香ピアノ・リサイタル
  - #36 平成26年10月19日（日）櫻田はるかクラリネット・リサイタル
  - #37 平成26年11月30日（日）中実穂チェロ・リサイタル
  - #38 平成26年12月14日（日）藤山仁志バリトン・リサイタル
  - #39 平成27年1月17日（土）長澤沙織クラリネット・リサイタル
  - #40 平成27年2月14日（土）山元香那子ピアノ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズOSAKA」 大阪いずみホール 協賛：いずみホール
  - #13 平成26年6月20日（金）湯川美佳ピアノ・リサイタル
  - #14 平成26年7月25日（金）森寿美バリトン・リサイタル
  - #15 平成26年11月13日（木）西田麻希子フルート・リサイタル
  - #16 平成26年12月9日（火）西田真由子ソプラノ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズSAPPORO」 札幌コンサートホールKitara 小ホール
  - #7 平成27年1月14日（水）岡本千里オーボエ・リサイタル
  - #8 平成27年1月26日（月）谷地聡子ソプラノ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズNAGOYA」 名古屋ザ・コンサートホール(電気文化会館)
  - #7 平成27年2月5日（木）原田幸子ソプラノ・リサイタル
  - #8 平成27年2月19日（木）上田麻里江ピアノ・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズKYOTO」 京都コンサートホール・アンサンブルホールムラタ
  - #5 平成27年2月4日（水）奥田裕美フルート・リサイタル
- ・「リサイタル・シリーズOITA」 iichiko 総合文化センター音の泉ホール
  - #2 平成27年3月11日（水）首藤玲奈ソプラノ・リサイタル

②「オーケストラ・シリーズ」の開催（6回）

地域の音楽振興と新人演奏家の発掘・紹介を目的とした演奏会で、全国6都市で各地域のプロ・オーケストラの協力を得て、共催により開催した。各地域の音楽大学、音楽団体、教育者等の推薦を受けた多数の応募者を厳正なオーディションによって選抜し、合格者にオーケストラと協演する機会を提供した。新人の演奏家にとってプロのオーケストラと共演するという貴重な発表の場を提供することができた。

- ・第19回 福岡地区 平成27年1月23日（金）FFGホール（旧福岡銀行本店大ホール）  
演奏：九州交響楽団 指揮：金 洪才  
出演：金丸響子（Tp）、古賀美代子（Pf）、颯川智沙（Mez）、堤眞利恵（Sop）、  
廣瀬心香（Vn）  
共催：（公財）九州交響楽団
- ・第20回 大阪地区 平成27年1月28日（水）ザ・シンフォニーホール  
演奏：日本センチュリー交響楽団 指揮：現田茂夫  
出演：中村友希乃（Vn）、北野智子（Sop）、大西智氏（Sax）、黒住友香（Pf）  
共催：（公財）日本センチュリー交響楽団
- ・第21回 名古屋地区 平成27年3月4日（水）愛知県芸術劇場コンサートホール  
演奏：名古屋フィルハーモニー交響楽団 指揮：梅田俊明  
出演：小泉悠（Vn）、榊原涼子（Pf）、加藤裕子（Sop）、香月麗（Vc）、  
小森野枝（Pf）  
共催：（公財）名古屋フィルハーモニー交響楽団
- ・第22回 広島地区 平成27年3月5日（木）アステールプラザ大ホール  
演奏：広島交響楽団 指揮：小田野宏之  
出演：山口水蛭（Sop）、森田夕貴（Sax）、石堂優二郎（Tub）、山本愛子（Sax）  
共催：（公社）広島交響楽協会  
後援：中国新聞社
- ・第23回 仙台地区 平成27年3月6日（金）日立システムズホール仙台・コンサート  
ホール（仙台市青年文化センター）  
演奏：仙台フィルハーモニー管弦楽団 指揮：鈴木織衛  
出演：名和俊（Cb）、真壁実希（Fl）、古関奏絵（Vn）、文京華（Pf）  
共催：（公財）仙台フィルハーモニー管弦楽団
- ・第24回 札幌地区 平成27年3月18日（水）札幌市教育文化会館大ホール  
演奏：札幌交響楽団 指揮：高関 健  
出演：狩原枝里子（Cl）、布施香織（Sop）、橋本麗美（Fl）、沓野勢津子（Mrb）、  
北濱佑麻（Pf）  
共催：（公財）札幌交響楽団／北海道新聞社  
協賛：（公財）道銀文化財団  
後援：北海道／札幌市／札幌市教育委員会

③「新進芸術家海外研修員コンサート」の開催（2回）

文化庁新進芸術家海外研修制度により海外で研鑽を積んだ新進演奏家による演奏会を開催した。昨年度よりジョイントリサイタル形式とし、今年度は4名の研修生が自己の研究の成果を披露した。

- ・平成26年11月26日（水）東京オペラシティ・リサイタルホール  
出演：海瀬京子（Pf）、澤亜樹（Vn）
- ・平成26年12月26日（金）東京オペラシティ・リサイタルホール  
出演：堀内由紀（B-Vn）、大村千秋（Cemb）

④「ヴァイオリンのための公開マスタークラス」

国内外のトップクラスの演奏家を講師に招き、明日の音楽界を担う若い人材を育成する

ことを目的に実施している事業。平成26年度は、当初、イタリアからヴァイオリニストのフェリックス・アーヨ氏を招く計画で準備を進めていたが、アーヨ氏はドクターストップがかかり来日不可能となった。このため、急遽、ヴァイオリニストの徳永二男氏に講師をお願いしたところ快諾いただき、予定どおり6名の新進ヴァイオリニストによる公開マスタークラスを2日間にわたって開催することができた。

- ・平成26年10月21日（火）東京／サントリーホール ブルーローズ
- ・平成26年10月22日（水）東京／サントリーホール ブルーローズ

**(2) 文化庁新進芸術家海外研修制度の協力<平成27年度派遣対象>**

新進芸術家海外研修員の音楽分野の応募の取りまとめを行なった。昨年より文化庁に直接申し込むことが可能となり、当連盟の受付者数は6名となった。

| 研 修 期 間         | 日演連受付者数 |
|-----------------|---------|
| 1年研修 (200～350日) | 4名      |
| 3年研修 (1,050日)   | 1名      |
| 特別研修 (80日)      | 1名      |
| 計               | 6名      |

※合格者なし

**2 音楽普及活動（自主公演）**

**(1) 「2015 都民芸術フェスティバル」の主催公演**

＝助成：東京都＝

都民芸術フェスティバルは、東京都が助成する恒例のフェスティバルで、新春の1月から春3月にかけて実施しているもので、今回で47回目を迎えた。平成26年度は広範な芸術ジャンルのの中から11部門、96公演が実施され、当連盟はこのうちのクラシック音楽部門を下記のとおり開催した。

① オペラ（3団体 8公演）

- ・ヴェルディ作曲「ファルスタッフ」（公財）日本オペラ振興会・<直接事業>  
藤原歌劇団公演 平成27年1月24日（土）、1月25日（日）  
東京文化会館大ホール
- ・ヴェルディ作曲「リゴレット」（公財）東京二期会・<直接事業>  
東京二期会オペラ劇場 平成27年2月19日（木）～22日（日）  
東京文化会館大ホール
- ・石井 勲作曲「袈裟と盛遠」（公財）日本オペラ振興会・<直接事業>  
日本オペラ協会公演 平成27年3月28日（土）、3月29日（日）  
新国立劇場中劇場

② オーケストラ（8団体 8公演） 東京芸術劇場コンサートホール

- ・平成27年1月28日（水）演奏：東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団  
指揮：宮本文昭 ピアノ：若林 顕
- ・平成27年1月31日（土）演奏：読売日本交響楽団  
指揮：沼尻竜典 ヴァイオリン：パヴェル・シュポルツル
- ・平成27年2月7日（土）演奏：東京フィルハーモニー交響楽団  
指揮：ロッセン・ゲルゴフ ピアノ：小山実稚恵
- ・平成27年2月11日（水）演奏：新日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮：ダニエル・スミス チェロ：宮田 大
- ・平成27年2月18日（水）演奏：東京都交響楽団  
指揮：レオシュ・スワロフスキー ピアノ：末永 匡

- ・平成 27 年 2 月 26 日 (木) 演奏：NHK交響楽団  
指揮：下野竜也 ヴァイオリン：竹澤恭子
- ・平成 27 年 3 月 9 日 (月) 演奏：日本フィルハーモニー交響楽団  
指揮：田中祐子 ピアノ：横山幸雄
- ・平成 27 年 3 月 24 日 (火) 演奏：東京交響楽団  
指揮：高関 健 ヴァイオリン：周防亮介
- ③ 室内楽等 (3 団体 3 公演) 東京文化会館小ホール
  - ・平成 27 年 1 月 22 日 (木) 「ピアノ三重奏の夕べ」  
ピアノ：仲道郁代 ヴァイオリン：徳永二男 チェロ：毛利伯郎
  - ・平成 27 年 2 月 24 日 (火) 「弦楽四重奏の夕べ」  
古典四重奏団  
ヴァイオリン：川原千真・花崎淳生 ヴィオラ：三輪真樹 チェロ：田崎瑞博
  - ・平成 27 年 3 月 4 日 (水) 「ヴァイオリン&ピアノの夕べ」  
ヴァイオリン：大江 馨 ピアノ：清水和音

## (2) 創立 50 周年記念事業

平成 27 年 7 月の創立 50 周年記念に向けて事業内容を検討し、以下のとおりの内容を決定した。同時に各種民間助成金の申請や寄附願い等、資金獲得に向けて様々に取り組んだ。

事業名：公益社団法人日本演奏連盟創立 50 周年記念事業

＜演奏家と邦人作曲家シリーズ＞

日程：平成 27 年 7 月 6 日 (月) ～7 月 12 日 (日)

会場：サントリーホール ブルーローズ

内容：第一夜「山田耕筰」と「信時潔」 没後 50 年記念

～明治、大正、昭和 激動の時代を生きた日本音楽界の二大巨匠特集

第二夜 歌の日 日本歌曲の歴史を辿って

～「瀧 廉太郎」に始まり「林光」に至る歌曲の道

第三夜 ピアノの日 ～邦人ピアノ作品 10 選～

第四夜 器楽の日 ～初演のあの感動をもう一度～

第五夜 合唱の日 ～戦後の合唱曲ベスト・セレクション～

最終日 室内オペラの日 「黒塚」「三人の女達の物語」

～オペラと能狂言のコラボレーション作品～

室内オペラのキャスティングオーディション実施

日程：2014 年 12 月 6 日 (土)

会場：昭和音楽大学北校舎内第 3 スタジオ

## 3 調査研究及び権利擁護活動 (調査、資料収集)

### (1) 「演奏年鑑 2015 音楽資料 (通巻第 41 号)」の刊行

＝文化庁委託事業「平成 26 年度次代の文化を創造する新進芸術家育成事業」＝

B 5 判 580 頁 1,400 部 関係機関及び資料提供団体等に配布。

### (2) 機関紙・月刊「えんれん」の発行と情報誌「ぶらあぼ」の配布

B 5 判 8 頁建 3,600 部 会員及び関係団体等に無料配布。

### (3) 著作隣接権の権利擁護と個人分配に協力

一般社団法人演奏家権利処理合同機構MPNを構成する団体の一員として、演奏家の著作隣接権としての様々な諸権利に基づく報酬が適正に分配されるよう、広報活動、委任契約促進活動などを積極的に行なった。また、MPNに設置したクラシック委員会 (日本音楽家ユニオン、日本オーケストラ連盟、日本演奏連盟) の中心となってクラシック部門の報酬分配のための作業を積極的に推し進め、2012 年度徴収分のクラシック部

門の個人分配作業を行なった。

2012 年度徴収分…593 件 48,757,627 円

#### (4) 芸術家会議の活動

芸術家会議は全国の 42 の文化芸術創造団体で構成する組織で、会員団体はオーケストラ、オペラ、合唱、バレエ、演劇、伝統芸能など幅広いジャンルから構成されている。当連盟はその事務局を務め、設立以来 40 有余年にわたり、国の文化予算の拡充を求め活動してきた。

芸術家会議にはトップレベルの芸術団体として文化庁から特別支援を得ている団体を中心に、芸術家の人材育成に取り組んでいる各ジャンルの統括団体も多く加盟し、主として文化庁予算の拡充に力を注いできた。平成 27 年度予算ではトップレベルの舞台芸術団体に対する支援は前年度同額の 31 億円、人材育成事業も前年度と同額の 18 億円が計上されているが、2020 年東京オリンピック・パラリンピックにおける文化プログラムを見据え、今後ますます芸術団体への直接支援の増額を求める活動を活発化していかなければならない。

#### (5) 世界の国際音楽コンクール開催要項の収集と情報提供

ホームページや演奏年鑑で、国際音楽コンクールに関する情報を発信した。

#### (6) ホームページによる情報発信

日演連ニュース、事業・催事案内、入会案内、著作隣接権、教員公募、楽員募集など音楽界に関わる様々な情報を発信するとともに、演奏会チケットのインターネット予約販売を行った。

### 4 助成・奨学活動（応募型）

#### (1) 増山美知子奨励ニューアーティストシリーズ（5 公演助成）

ソプラノ歌手の増山美知子さんから提供を受けた資金をもとに、35 歳以下の若い演奏家の本格的自主公演に対して経済的援助を行なう事業で、26 年度は 1 公演を採択した。

・平成 27 年 3 月 4 日（水）岡山県立美術館ホール／第 2 回クアルテット・ベルリン・トウキョウ 日本ツアー岡山公演

#### (2) 宗次エンジェル基金／公益社団法人日本演奏連盟新進演奏家国内奨学金制度（給付型）

特定非営利活動法人イエロー・エンジェル（愛知県名古屋市）の宗次徳二理事長から支援を得て、プロのクラシック音楽の演奏家を志す全国の優秀な学生、若手演奏家に対し、教育機関での学業費用または国内での研修費用等を支援する奨学金制度（返済不要の給付型で月額 5 万円）を本年度も実施した。平成 26 年度は、書類審査、CD 審査、実技審査を経て下記の 15 名を平成 27 年度奨学生に決定した。なお、当制度の支援期間は最長で 2 年間までとなっている。

応募総数 85 名 奨学生 15 名

新規：紀野洋孝（テノール）、倉富亮太（ヴァイオリン）、黒岩航紀（ピアノ）、  
田原綾子（ヴィオラ）、早坂忠明（ピアノ）、林直樹（ピアノ）、  
水谷桃子（ピアノ）、宮澤尚子（ソプラノ）、森田啓介（チェロ）、  
山本楓（オーボエ）、

更新：奥谷翔（ピアノ）、開原由紀乃（ピアノ） 牟田口遥香（チェロ）、  
三浦舞夏（ピアノ）、入江真歩（ヴァイオリン）

### 5 啓蒙・啓発活動

#### (1) 日本演奏連盟の後援名義使用承認状況

会員が主催するリサイタル及び室内楽、または各種演奏団体が主催する催事について〈後援名義使用申請〉を受けて常任理事会で協議し、後援名義使用を承認した。

・年間申請件数 147 件 うち承認件数 147 件

## (2) 「コンサート・アシスト」事業の実施

演奏家の自主リサイタルの開催を有料でサポートする事業をコンサート・アシストとして実施した。平成26年度は2公演のマネジメントを行った。

- ・平成26年4月29日(火) サントリーホールブルーローズ/朝岡真木子音のパレットⅢ
- ・平成26年10月31日(金) 津田ホール/長島剛子・梅本実リートデュオ・リサイタル  
～世紀末から20世紀へ Part XⅢ <マーラーとシュトラウスの歌曲>

## (3) 東日本大震災復興支援事業の協力

①福島県の要請を受けて、福島県の保育園、小学校に演奏家を派遣する事業に協力した。  
文化庁<平成26年度次代を担う子どもの文化芸術体験事業一派遣事業>

<東日本大震災復興支援対応>

- ・平成26年11月7日(金) 福島県いわき市わかぎ保育園
- ・平成26年11月8日(土) 福島県田村市立芦沢小学校

Ensemble ogts フルート：吉岡次郎 オーボエ：関水萌子

クラリネット：横田揺子 ピアノ：布施亜紀子

②日本赤十字社福島県支部の要請を受けて、全校避難している須賀川市立第一小学校の生徒を対象にしたコンサートに演奏家を派遣する事業を実施した。

- ・平成26年12月19日(金) 福島県須賀川市文化センター  
ヴァイオリン：二村英仁 チェロ：金子鈴太郎、森和子  
クラリネット：吉田誠 ピアノ：佐藤彦大

## II その他の事業（相互扶助等事業）

### 1 会員向け事業

#### (1) 「山田康子奨励・助成コンサート」（年間6公演以内）

ピアニストの故山田康子さんから提供を受けた資金をもとに、会員が主催する意欲的かつ創造的な演奏会に対して経済的な援助を行なう事業で、助成枠を年間6公演以内とし、常任理事会で厳正に審査し決定した。今年度は5公演を助成した。

(総申請件数 14件)

- ・平成26年4月4日(金) 東京オペラシティ・リサイタルホール/白川毅夫室内楽演奏会
- ・平成26年7月13日(日) 津田ホール/ピアノデュオ・ドゥオール結成10周年リサイタルシリーズ2014 “次の10年へ”
- ・平成26年11月7日(金) サンエールかごしま講堂、11月16日(日) ヤマハホール/小林道夫&赤塚太郎 ピアノ連弾リサイタル～二人の伴奏者の芸術～
- ・平成26年11月28日(金) ソノリウム/平野玲音 Reine pur 第8回「二重帝国の時代」
- ・平成27年3月22日(日) 津田ホール/澤田まゆみピアノリサイタル my favorites～Vol.3 舞曲×和声的色彩S→A

#### (2) 「日本演奏連盟会員名簿」（年1回）の発行

B5判 128頁 3,700部 11月に全会員に配布。

#### (3) 福祉厚生に関する互助業務

互助規程に則り、互助給付を行なった。

互助給付の最近の実績

(単位：千円)

| 給付内容                 | 平成 23 年度      | 平成 24 年度      | 平成 25 年度      | 平成 26 年度      |
|----------------------|---------------|---------------|---------------|---------------|
| 入院給付                 | 1,425 (18 件)  | 1,370 (16 件)  | 1,345 (20 件)  | 1,340 (16 件)  |
| 死亡給付                 | 460 ( 6 件)    | 260 ( 4 件)    | 840 (10 件)    | 770 ( 9 件)    |
| 健診補助給付               | 212 (71 件)    | 204 (69 件)    | 173 (58 件)    | 160 (54 件)    |
| 永年祝金給付               | 1,434 (28 件)  | 630 (12 件)    | 1,218 (22 件)  | 1,224 (23 件)  |
| 東日本大震災会費<br>免除分及び見舞金 | 2,879 (180 件) |               |               |               |
| 合 計                  | 6,410 (303 件) | 2,464 (101 件) | 3,576 (110 件) | 3,494 (102 件) |

(4) 芸能に従事する人の国民健康保険等の事務取り扱い

公法人東京芸能人国民健康保険組合が管理する国民健康保険への加入の事務取り扱いを行なった。

平成 27 年 3 月末現在の加入状況は、次のとおり。( ) 内は前年実績

- ・ 芸能人国民健康保険加入者 65 人 (67 人)

また、当連盟と提携している東京海上日動火災保険株式会社との所得補償保険、傷害保険・賠償保険の事務手続きを行なった。

(5) 会員のための税務相談

顧問税理士による会員のための税務相談を確定申告時期に実施し、申告書作成に協力した。

## 平成26年度事業報告書の附属明細書

平成26年度事業報告書には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。